

乳腺外科

1. 乳腺外科の理念・特色

当院は、兵庫県北部では唯一の乳癌学会認定施設で、但馬地域で発症する乳癌の大部分を診療している。

人口の希少な、いわゆる郡部の病院ではあるが、都市部の乳腺専門を標榜する有名病院にひけをとらない乳癌診療の提供を心がけている。

乳腺専門医あるいは乳腺専門医取得を目指す医師のみが、診断、手術、補助療法、再発治療を一貫して担当している。

診断は迅速を旨として、受診当日に針生検あるいは穿刺吸引細胞診を実施している。

治療法の選択にあたっては、乳癌学会編纂の「科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン」に沿ってできるだけ標準的な治療法を患者に提示し、十分に話し合い、患者の意思を尊重して治療方針を決定している。

手術ではセンチネルリンパ節生検を実施することが多いが、ICG 蛍光法でセンチネルリンパ節の同定率を高め、転移の有無の診断には OSNA 法を導入している。

術中の迅速診断や定期的に行っている病理カンファレンスなどでは、常勤病理医の存在がありがたく心強い。

また、関係する職種からなるプレストケアチームを結成しチーム医療を実践している。

診断においてマンモグラフィは放射線科医と外来担当医でダブルチェックを行っている。

超音波は女性技師が受診者全例にスクリーニングエコーを行い、有所見者のみ医師が診察室で再度検査し所見を確認している。

乳癌と診断された方に対しては、乳癌看護認定看護師が術前から術後補助療法に至るまでしっかりサポートし、化学療法においては薬剤師による薬剤投与量や副作用対策に関する助言が欠かせない。

週1回、プレストケアチームによる術前・術後カンファレンスを行い、乳癌診療全体のレベルアップを図っている。

2. 目標・プログラム

ア. 目標とする医師像

- ・ 乳癌診療に必要な基本的手技と基本的知識を身につけ、患者の社会的背景や家族関係も考慮し、患者の意思を尊重しつつ、診療にあたることができる医師。
- ・ 他者の意見にも素直に耳を傾ける柔軟さと協調性を持った医師。

イ. 経験できる診療、技術

- ・ 乳腺疾患の問診、視触診
- ・ マンモグラフィ読影
- ・ 乳腺超音波検査の実施
- ・ CT、MRI、骨シンチの読影
- ・ 穿刺吸引細胞診、CNB、VAB の手技
- ・ 乳癌の治療方針の決定
- ・ 術前薬物療法の実施
- ・ 乳腺良性疾患に対する外来手術の実施
- ・ 乳癌に対する手術の執刀
- ・ 乳癌の術前術後管理
- ・ 術後補助療法の決定と実施
- ・ 術後のフォローアップ
- ・ 再発乳癌の診断と治療選択
- ・ 緩和ケア内科との連携



3. 週間予定

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日/日曜日
午前	外来	手術	外来	外来	外来	/
午後	外来	手術	外来・手術	外来	外来	
時間外				術前・術後症例検討会 病理カンファレンス ドックマンモグラフィ 読影		

4. 指導医・スタッフ

部長 みずた まこと
水田 誠

医長 えんどう しんいちろう
遠藤 真一郎

出身 兵庫医科大学 S59

出身 島根医科大学 H9

専門	乳腺外科
認定	日本外科学会専門医・指導医 日本乳癌学会専門医・指導医 検診マンモグラフィ読影認定医師

専門	乳腺外科、緩和ケア
認定	日本外科学会専門医 日本乳癌学会認定医 検診マンモグラフィ読影認定医師

5. 診療設備等

- ・ 3D マンモグラフィ
- ・ 1.5T MRI装置 フィリップスジャパン Ingenia1.5
- ・ 3.0T MRI装置 フィリップスジャパン Ingenia3.0
- ・ PDE システム: センチネルリンパ節生検時に用いる ICG 蛍光法に利用
- ・ 乳がんリンパ節転移迅速検査システム OSNA



6. 診療実績

手術症例数

	2016年	2017年	2018年	2019年
乳がん手術	80	84	88	80
乳房切除術	46	43	39	49
乳房温存手術	34	41	49	31

7. 学会認定施設

日本乳癌学会認定施設

【学会認定専門研修プログラム】

乳腺認定医制度修練カリキュラム(2年)

乳腺専門医制度修練カリキュラム(5年)

